

6-4 4/6の指導計画

(1) 目標

- 文章の表現の仕方について自分の考えをもって、表現を工夫しようとする。
- 心情が相手に効果的に伝わるように、描写や表記などの表現の工夫をしてリライト作品を書くことができる。

(2) 展開

過程	学習活動	教材資料	指導上の留意点	評価規準と評価方法 Cの状況の生徒への手立て
導入	1 本時の目標を知る。	学習計画表	○本時でリライト作品を仕上げ、次時でワークシート⑤を完成させ、グループで交流することを確認させる。	
心情が効果的に伝わるように、描写や表記を工夫してリライトしよう				
展開	2 必要な情報を読み取りながら、表現の仕方について自分の考えをもって、表現を工夫してリライトする。 [手順] 1) 場面の時間、場所、登場人物、出来事、表現の工夫を確認する。 2) リライトの条件に従ってリライトする。 [リライトの条件] I 主人公にした人物の心情を書く。 II 主人公のした人物の視点から出来事を書く。 III 表現の仕方をまねる。 3) リライトした作品を読み返して推敲する。 4) グループで取り組み状況を交流する。	ワークシート⑤ ワークシート⑤記入例① ワークシート⑤記入例② ワークシート⑤記入例③	○「盆土産」の表現を根拠にして想像力を働かせて楽しんでリライトすることについて念を押す。 ○これまで使用したワークシートを参照させ、条件を確かめさせる。 ○リライトするときの条件に合っているか、確認をさせながらリライトさせる。 ○リライトするときの条件に合っているか、確認をさせながら推敲させる。 ○リライトした作品のよいところを自分の表現の参考にさせる。	関-2 文章の表現の仕方について自分の考えをもって、表現を工夫しようとしている。 【取り組みの様子】 【ワークシートの記述】 書-1 心情が相手に効果的に伝わるように、描写や表記などの表現の工夫をしてリライト作品を書いている。 【ワークシートの記述】 記入例を渡して比べ読みをさせ、表現の工夫について、その根拠や効果がどういふものか具体的につかませる。
まとめ	3 授業を振り返って自己評価をし、学習計画表に「学んだこと(学習のまとめや感想)」を記入する。 4 次時の見通しをもつ	学習計画表	○次時はグループで作品を読み合うことを知らせ、学習の見通しをもたせる。	